

病害虫防除技術情報第 13 号

平成 25 年 9 月 18 日

三重県病害虫防除所

ダイズにおけるミナミアオカメムシの発生量は多い状況です。

1. 対象作物：ダイズ

2. 対象病害虫名：吸実性カメムシ類(ミナミアオカメムシ、ホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシ)

3. 発生状況：多い

(1) 予察灯(ミナミアオカメムシ・8月第1半旬～9月第2半旬、松阪市)では、水田位置で115頭(3年平均31.0頭)と多い傾向、畑位置で704頭(3年平均819.0頭)と平年並の傾向で推移しています。

(2) 巡回調査圃場(9月第2週)では、吸実性カメムシ類の発生圃場率62.5%(平年16.9%)、寄生株率5.8%(平年1.0%)、25株当たり寄生虫数6.3頭(平年0.4頭)と、平年に比べて多い状況です(表)。特にミナミアオカメムシ成幼虫の発生が、伊勢平坦地域において目立ちました。

(3) 松阪地域のダイズ圃場(13地点)では、8月下旬の開花期からミナミアオカメムシ成虫の発生が確認され、莢の着き始めた9月上旬以降、圃場内で幼虫が増加しています(図)。また、9月15～16日の台風18号通過後も、引き続き圃場内での発生が確認されました。

表 巡回調査圃場における吸実性カメムシ類の発生状況

調査地点	寄生株率 (%)	寄生虫数 (頭/25株)	種類
いなべ市大安町大井田	9.0	3.5	ミナミアオ成幼(2～3齢)、イチモンジ成
四日市市江村町	4.0	13.3	ミナミアオ成幼(1齢)
鈴鹿市下大久保	6.0	14.0	ミナミアオ成幼(1齢)
津市白山町川口	16.0	4.8	ミナミアオ成、イチモンジ成
松阪市藤之木町	5.0	13.5	ミナミアオ成幼(1～2齢)
松阪市保津町	3.0	0.8	ミナミアオ幼(1齢)
伊賀市木興	1.0	0.3	イチモンジ成
伊賀市千戸	2.0	0.8	イチモンジ成、ミナミアオ幼(2齢)
県全体	5.8	6.3	-
平年値	1.0	0.4	(2003～2012年の平均値)

2013年9月9日～13日調査。8地点32圃場。発生圃場率62.5%(平年16.9%)。

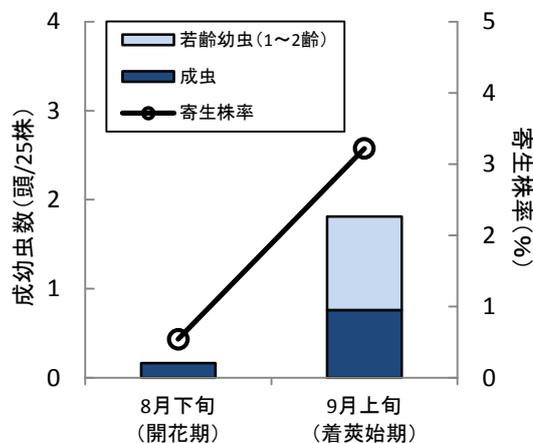


図 松阪地域におけるミナミアオカメムシ発生量の推移(13地点52圃場の平均値。2013年)

4. 防除上の注意事項

(1) 圃場での発生状況に注意してください。特に伊勢平坦地域では発生が多い傾向があります。

(2) 薬剤防除は着莢期から子実肥大期に実施しましょう。この時期に加害を受けると、株全体が青立ちしたり、子実が変形したりするなどの被害があります。

(3) ミナミアオカメムシは、一部の合成ピレスロイド系殺虫剤で効果の低いことが確認されています。薬剤の選定には注意してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。